

大阪湾の高潮

日本沿岸における高潮の発生数や大きさには、有意な長期変化傾向は見られません。21世紀末における大阪湾の最大潮位偏差※1は大きくなると予測されます※2

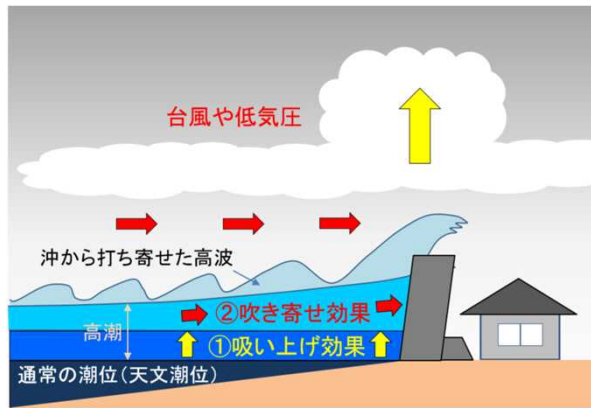
潮位偏差の将来予測によると、大阪湾では、小規模な高潮の数は減少するものの、**大規模な高潮の頻度が増加する**と予測されています。※3
(『日本の気候変動2020』本編第19章より)

- ※1：潮位偏差 天体の動きから算出した天文潮（推算潮位）と気象などの影響を受けた実際の潮位との差（ずれ）。
※2：確信度は中程度（詳細は上記資料参照）。2℃上昇シナリオ及び4℃上昇シナリオによる。
※3：確信度は低い（詳細は上記資料参照）。4℃上昇シナリオによる。

高潮は、主に台風や発達した低気圧の接近に伴い、吸い上げ効果や吹き寄せ効果などにより、海面が異常に上昇する現象で、**短時間のうちに急激に潮位が上昇**することがあります。

①気圧低下による吸い上げ効果
台風や低気圧の中心付近では気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

②風による吹き寄せ効果
台風等による強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。

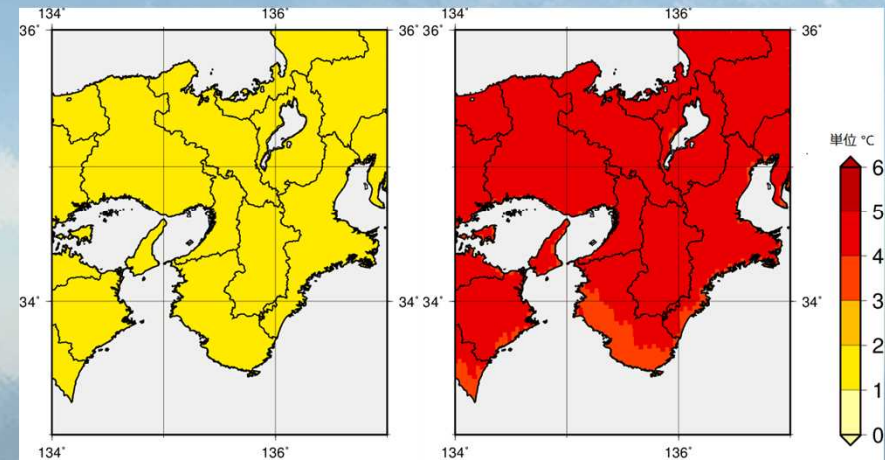


(気象庁パンフレット「高潮と高波から命を守るために」より)

大阪府の気候変動

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)
に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

大阪府の年平均気温の将来予測 (21世紀末)



2℃上昇シナリオでは
大阪府の気温上昇は
約1.3℃に！



4℃上昇シナリオでは
大阪府の気温上昇は
約4.2℃に！

このリーフレットでは、20世紀末※と比較した21世紀末※の将来予測を、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第5次評価報告書 (AR5) で用いられた以下2つの代表的濃度経路 (RCP) シナリオについて示しています。
※ 20世紀末：1980～1999年の平均、21世紀末：2076～2095年の平均

2℃上昇シナリオ (RCP2.6)
21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約2℃上昇。
パリ協定の2℃目標が達成された世界。

4℃上昇シナリオ (RCP8.5)
21世紀末の世界平均気温が工業化以前と比べて約4℃上昇。
追加的な緩和策を取らなかった世界。

全国の情報はこちら

「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁、令和2年12月公表)



お問合せはこちら

大阪管区気象台
〒540-0008 大阪市中央区
大手前4-1-76
大阪合同庁舎第4号館
担当：地域防災推進課
電話：06-6949-6653

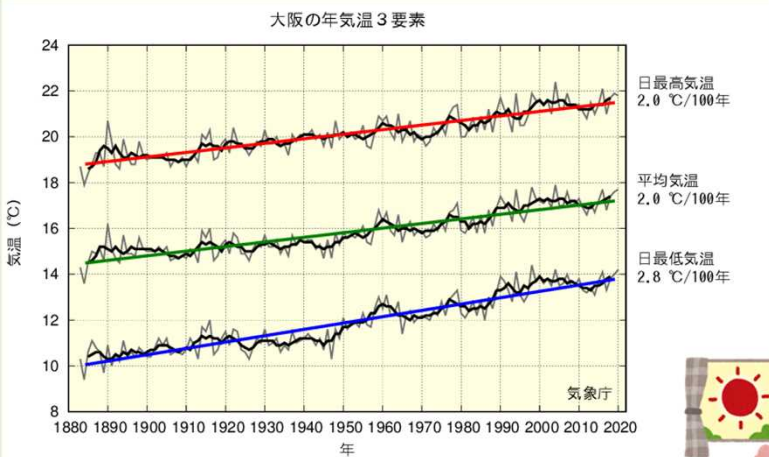
令和4年3月
大阪管区気象台

これまでの変化

気温の変化

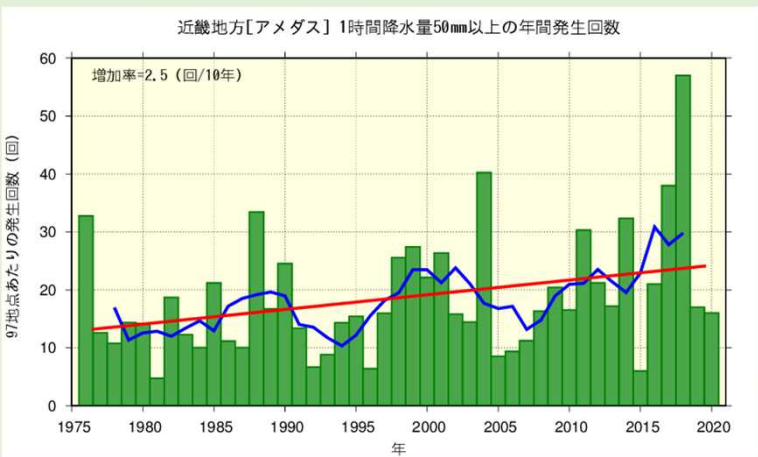
大阪では年平均気温が100年あたり**約2.0℃**上昇しています。猛暑日や熱帯夜※の日数については、1990年代以降の発生数は特に多くなっています。

※猛暑日：日最高気温35℃以上
熱帯夜：日最低気温25℃以上



雨の変化

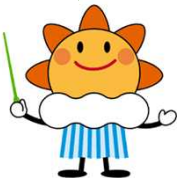
近畿地方では、短時間に降る非常に激しい雨（1時間降水量50mm以上）の回数には増加傾向が現れています。



追加的な緩和策なし

4℃上昇シナリオ

将来は
どうなる
のかな？



2℃上昇シナリオ

パリ協定の2℃目標達成



これからの変化

気温の変化

大阪府の年平均気温は**約4.2℃**上昇します

猛暑日日数	約40日増加 ↑
真夏日日数	約60日増加 ↑
熱帯夜日数	約63日増加 ↑
冬日日数	約28日減少 ↓

猛暑日：日最高気温35℃以上
真夏日：日最高気温30℃以上
熱帯夜：日最低気温25℃以上
冬日：日最低気温0℃未満

雨の変化

近畿地方に降る非常に激しい雨※¹の回数は、**約2.4倍**に増加します

※¹：1時間降水量50mm以上

日降水量200mm以上の回数	約2.7倍に増加 ↑
年最大日降水量※ ²	約1.2倍に増加 ↑
無降水日日数	約12日増加 ↑

※²：1年で最も多くの雨が降った日の降水量

大雨や短時間強雨は発生数が少ないため、地域単位での予測は不確実性が大きいことに注意が必要です。

「これからの変化」とは、21世紀末（2076～2095年の平均）の予測を20世紀末（1980～1999年の平均）と比較したものです。

気温の変化

大阪府の年平均気温は**約1.3℃**上昇します

猛暑日日数	約8日増加 ↑
真夏日日数	約19日増加 ↑
熱帯夜日数	約18日増加 ↑
冬日日数	約13日減少 ↓

猛暑日：日最高気温35℃以上
真夏日：日最高気温30℃以上
熱帯夜：日最低気温25℃以上
冬日：日最低気温0℃未満

雨の変化

近畿地方に降る非常に激しい雨※¹の回数は、**約1.9倍**に増加します

※¹：1時間降水量50mm以上

日降水量200mm以上の回数	約2.0倍に増加 ↑
年最大日降水量※ ²	約1.1倍に増加 ↑
無降水日日数	約4日増加 ↑

※²：1年で最も多くの雨が降った日の降水量

大雨や短時間強雨は発生数が少ないため、地域単位での予測は不確実性が大きいことに注意が必要です。